

## (参考1) ラスパイレス連鎖指数の動き

(1) ラスパイレス連鎖指数による総合指数は平成12年を100として97.8となり、基準年にウエイトを固定したラスパイレス指数（以下「公式指数」という。）の98.1に比べ0.3ポイント低くなっている。

また、前年比は0.1%の下落となり、公式指数（0.0%）に比べ0.1ポイント下方に振れている。

(2) 内訳をみると、教養娯楽は90.6となり、公式指数（92.2）に比べ1.6ポイント低くなっている。一方、保健医療は103.0となり、公式指数（102.9）に比べ0.1ポイント高くなっている。

図 ラスパイレス連鎖指数と前年比の推移

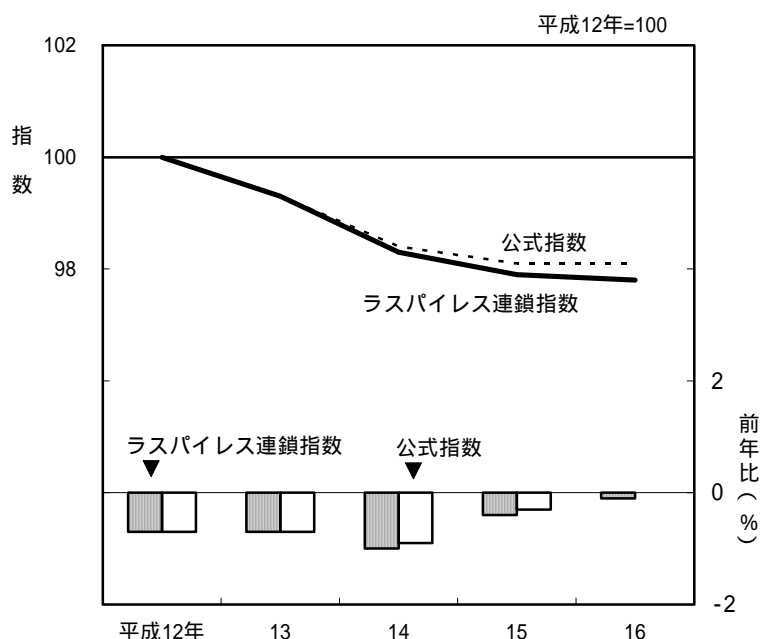


表 10大費目別

ラスパイレス連鎖指数

	平成12年=100		
	ラスパイレス連鎖指数	公式指数	差
総合	97.8	98.1	-0.3
食料	99.3	99.3	0.0
住居	99.7	99.8	-0.1
光熱・水道	98.9	99.0	-0.1
家具・家事用品	86.1	87.1	-1.0
被服及び履物	93.4	93.6	-0.2
保健医療	103.0	102.9	0.1
交通・通信	98.3	98.4	-0.1
教育	103.4	103.4	0.0
教養娯楽	90.6	92.2	-1.6
諸雑費	101.1	101.5	-0.4

### ラスパイレス連鎖指数等について

消費者物価指数ではウエイトを基準年に5年間固定したラスパイレス型で公式指数を計算しているが、消費構造の変化をより迅速に反映するため、毎年ウエイトを更新して指数を計算する「ラスパイレス連鎖指数」を昭和50年基準から、基準年と比較年の中間に当たる年の消費構造を用いた「中間年バスケット指数」を平成12年基準から、それぞれ作成しており、参考指数として公表している。

なお、統計表は438、439ページに掲載している。